

## 契約結果

### 1 契約担当課

都市整備局都市機能調整部跡地整備担当

### 2 業務名

広島大学旧理学部1号館の保存・活用に係る技術検討業務

### 3 履行場所

中区東千田町一丁目

### 4 入札方式

見積り合わせ

### 5 業務概要

本業務では、かつての学都広島としての歴史を象徴する建物であり、また被爆建物でもある旧理学部1号館の保存・活用を図りながら、広島の平和に関する「知の拠点」として再生するため、「被爆建物としての保存」と「平和に関する教育研究等の拠点としての長期的な活用」の二つの視点から、補修方法の検討やライフサイクルコストの試算、保存範囲・平面計画（案）の検討・評価を行うことを目的とする。

### 6 業種

問わない（応募資格要件有）

### 7 契約期間

令和5年3月28日まで

### 8 紙・電子区分

紙

### 9 見積書の徴取日時

令和4年7月11日 14時30分

### 10 決定状況

決定

### 11 決定業者名及び決定金額

株式会社山下設計 関西支社

19,800,000円

（うち取引に係る消費税及び地方消費税相当額 1,800,000円）

### 12 見積業者名及び見積金額

11に同じ

### 13 随意契約によることとした理由

本業務の対象は、建築後90年以上が経過し、著しく老朽化の進行した建物であり、また、被爆建物でもあることから、その実施に当たって、高度な技術力や専門的な知識・ノウハウ等の活用が必要な業務である。そのため、受託者の選定に当たっては、入札金額だけで受託者を選定する一般競争入札ではなく、業務の履行能力等を評価し、最も適したものを選定できるプロポーザル方式を採用した。

同プロポーザルにおいては、6者から提案書が提出され、「広島大学旧理学部1号館の保存・活用に係る技術検討業務プロポーザル審査委員会において審査した結果、当該業者の提案書が最も高い点数であったことから、同者を受託候補者として特定した。